

ロータリー財団



2008-09年度
学友人道奉仕世界賞

学友人道奉仕世界賞の目的は、元プログラム参加者の卓越した業績を称え、財団プログラムの社会的意義を広く知らしめることです。

本賞は、ロータリーの理念である超我の奉仕を実証するような卓越した奉仕活動での実績、あるいは仕事上の功績を挙げた元財団学友を称えるものです。ゾーン委員会がゾーンの学友賞の入賞者を選出します。その後、ロータリー財団管理委員会が、ゾーン入賞者の中から世界賞の受賞者を選出します。2008-09年度、奇数ゾーン(ゾーン3、5、7など)は、世界賞の候補者を推薦する資格があります。世界賞の受賞者は、国際ロータリー年次大会において表彰されます。本賞は、資格を有するロータリー財団の学友(元国際親善奨学生、研究グループ交換元チームリーダーおよびメンバー、ロータリー・ボランティア補助金元受領者、大学教員のための補助金元受領者、世界社会奉仕助成金元受領者)であれば誰でも受賞の対象となります。

基準

- 候補者は卓越した人道奉仕を行い、その職業において最高の業績を残した人でなければなりません。
- 候補者は世界市民として奉仕し、国際舞台で影響力を及ぼした人でなければなりません。理想的な候補者の奉仕および職歴は、国レベルあるいは国際レベルで人々の生活に良い影響を与え、地元地域社会を超えたものでなければなりません。

推薦の指針

- ロータリー地区はそれぞれ1人の候補者を推薦することができます。候補者は、ゾーン内のどのロータリー地区に居住、または留学、奉仕したのでも差し支えなく、またその地区から派遣されたのであっても構いません。
- 資格のある推薦者は、元管理委員、現地区ガバナー、学友小委員会委員長、ロータリー財団学友コーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーターです。
- すべての推薦には、現地区ガバナーの署名がなければなりません。
- 推薦書には、候補者がこの賞にふさわしい業績を上げたことを明確に記述しなければならず、そのための補足書類や資料を添えることが極力望まれます。
- 推薦の提出資料一式には、推薦書式、履歴書または略歴書、本人の奉仕における功績に関する詳述書、候補者のデジタル写真または現像写真が含まれます。
- **資料一式は、極力電子ファイル形式で送ることが望まれます。**

提出締切日

- ゾーン選考委員会は独自の締切日を設定します。ゾーン内の地区からの推薦書類一式はすべて、担当するロータリー財団地域コーディネーターが委員長を務める選考委員会に送付する必要があります。
- 資格あるゾーンは、選出された候補者の申請書を12月31日までに、RI世界本部に提出しなければなりません。
- ゾーンが推薦できる候補者は1名のみとなります。

各ゾーンが選んだ候補者はゾーンの入賞者とみなされ、ゾーン研究会などの重要なゾーン行事で表彰すべきです。

資格

- 候補者は適切なプログラムの義務要件をすべて満たしていなければなりません。
- 候補者は少なくとも10年以上前(プログラム参加年度が1997-98年度以前)にプログラムの参加を終了していなければなりません。
- 世界賞受賞者は、2009年6月に英国バーミンガムで開催されるRI国際大会において、本人が賞を受け取れる人でなければなりません。
- 本賞を受賞できるのは、1人1回限りです。